

英国独立学派の講読セミナーPart3

「ウィニコット」理解への挑戦

本セミナーのご案内：1940年代の英国において、学派・理論の相違に始まる現代フロイト学派とクライン派の間に起きた大論争は、独立学派（中間学派）を産み落とした。それは i) 党派性にとらわれないという、自由・独立を旨とした分析家の立ち位置とともに、ii) S. フロイトの時代に遡ってフェレンツィ、M. バリント、フェアバーンらを出発点として幅広い精神分析理論を束ねる「学派」を形成して現代に至っている。初年度は独立学派の対象関係、創造性、早期の情緒発達、セクシュアリティ、技法論といったトピックに関連した主要論文を、開講2年度はレイナーによるテキストを手がかりに、体系的な理解を目指した。3年目となる今回はウィニコットを取り上げる。狭義のウィニコッティアンではない立場から見て浮かび上がる「ウィニコット臨床の戦略性」の理解のために、元々は現代フロイト学派という「部外者」であった J. エイブラムによって書かれた『ウィニコット用語事典』をテキストに、関連する文献を読む。

各回文献を配布し、予め割り振った担当者がテキストのレジюмеを作成しそのプレゼンテーションと他の参加者のそれぞれの文献に関する質問を中心にセミナーリーダーが全体の理解をファシリテートする。

対 象： フロイト理論の系統講義（基礎講座、精神分析セミナー）・講読セミナーの受講経験が有る専門家

日 程： 4月から原則第4日曜日（7月あるいは9月が休み）、全11回
午前10時30分から午後1時まで

場 所： クリニックおくでら（小田急線小田原線 経堂駅 徒歩5分）

セミナーリーダー： 奥寺 崇

受 講 料： 40,000円

定 員： 10名

テ キ ス ト： ウィニコット用語辞典 館直彦監訳、誠信書房（2006）

参照論文・文献： その都度次回分までを指定し配布する。

申 込 方 法： 申し込み用紙に必要事項を書いて、FAXまたは郵送、ないしメールでお申し込みください。受講の可否を申込書に記載のEmailアドレスまたはご住所にお送りします。振込先をご確認の上、受講料をお振込みください。

〒160-0004 新宿区四谷3丁目4番 SCビル6階

小寺記念精神分析研究財団事務局 FAX：03-3350-9749

E-mail：kodera.kt@nifty.com

申 込 期 限： 2020年4月16日（金）

主 催： 小寺記念精神分析研究財団

第1回（4月25日）「環境」「反社会的傾向」

第2回（5月23日）

以降参考文献のテーマを時系列に沿って2項目程度選び参照文献を指定し配布する

第3回（6月20日）

第4回（7月18日あるいは8月22日）

第5回（8月22日あるいは9月26日）

第6回（10月24日）

第7回（11月28日）

第8回（12月26日）

第9回（1月23日）

第10回（2月27日）

第11回（3月27日） まとめ

